



岩倉市

令和5年4月 保存版

内水ハザード マップ

この内水ハザードマップは、局地的な大雨等に伴い、下水道などの排水能力を上回った水が溢れ起こる発生する浸水が想定される区域及び浸水の深さを示したもので、
浸水が予想される区域や程度は、雨の降り方や土地の形態、河川、河川や下水道の整備状況等により変化する場合があります。また、道路側溝などは考慮していないため、このマップのとおりにより浸水するとは限りません。

なお、市の周辺を流れる河川の水位が上昇し、堤防を越えて水が溢れた場合や、堤防の一部が決壊した場合に発生する洪水については、裏面を参照してください。

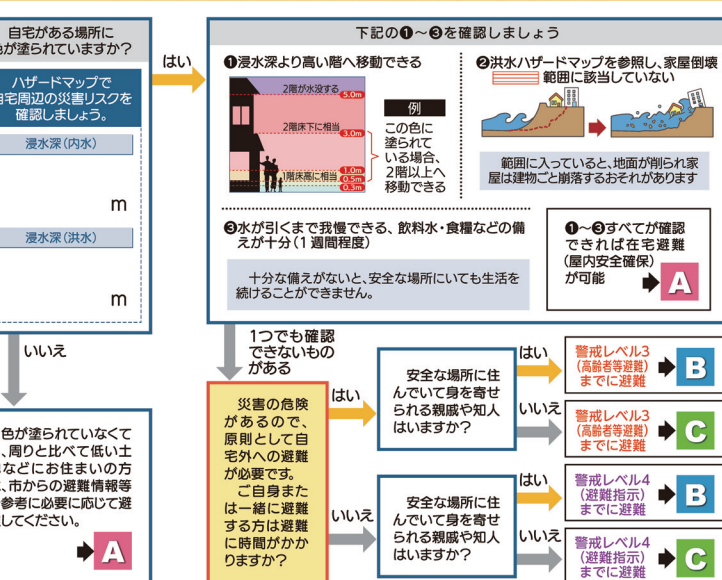
● 洪水と内水による浸水の違い



洪水による浸水	内水による浸水
大雨によって川の水位が高くなると、堤防を超えて水が溢れたり、堤防が壊れることで発生します。	大雨によって川や水路の水位が高くなり、雨水が流れなくなることによって発生します。

避難行動判定フロー 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自らの災害リスクと取るべき行動を確認しましょう。

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。



上記の避難行動判定フローの結果をもとに、普段から自分と家族がどう行動するか決めておきましょう。

避難行動判定フロー表編				みなさんへの行動	
屋内安全確保	浸水が発生するおそれの高い区域ではない場合や、浸水の危険が最も低いもの（ブルー①～③）において、危険を避けることができる場合は、自宅に留まり安全を確保することが可能です。			・ 丈で安全な建物の上階等へ移動 ・ 身の安全を確保可能な近隣のマンションやビル等の上階へ移動	
安全な親戚・知人宅へ避難	普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。 また、事前に「避難先」を確認し、知人宅とその避難経路が安全かどうか確認しておきましょう。			・ 避難先への持参品を確認 ・ 避難経路や避難先が安全を確認 ・ 逃げる場合は早めに避難を開始 ・ 徒歩・車・公共交通機関（電車・バス）の確認	
	避難先	避難方法		避難に要する時間	分
安全な避難施設へ避難	事前に「おざカードマップ」で避難できる施設までの経路を決めておき、安全かどうか確認しておきましょう。 また、感染対応策ができるものを携行しましょう。			・ 避難先への持参品を確認 ・ 避難経路や避難先が安全を確認	
	避難先	避難方法		避難に要する時間	分
その他安全な市・旅館の避難	通常の宿泊料が必要で、事前に予約、確認しましょう。 事前に「おざカードマップ」で「市・旅館」とその避難経路が安全かどうか確認しておきましょう。 また、感染対応策ができるものを携行しましょう。			・ 事前に予約、確認 ・ 感染症対策は各自で ・ 避難先への持参品を確認 ・ 避難経路や避難先が安全を確認 ・ 逃げる場合は早めに避難を開始	

浸水想定区域（浸水する深さを色で表現しています）

2階が水没する 5.0m

2階床下に相当 3.0m

1階床高に相当 0.5m
0.3m

5m ~ (該当なし)
3m ~ 5m
1m ~ 3m
0.5m ~ 1m
0.3m ~ 0.5m
~ 0.3m

内水氾濫想定区域図
(計画規模)

本マップは、岩倉市の下水道管渠の整備状況などを勘案して、岩倉市の区域内において概ね 10 年に 1 回程度起こる大雨（1 時間雨量 63mm）の降雨により、内水氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーション※により求めたものです。

※令和 5 年度中に完成予定の下水道施設を含む

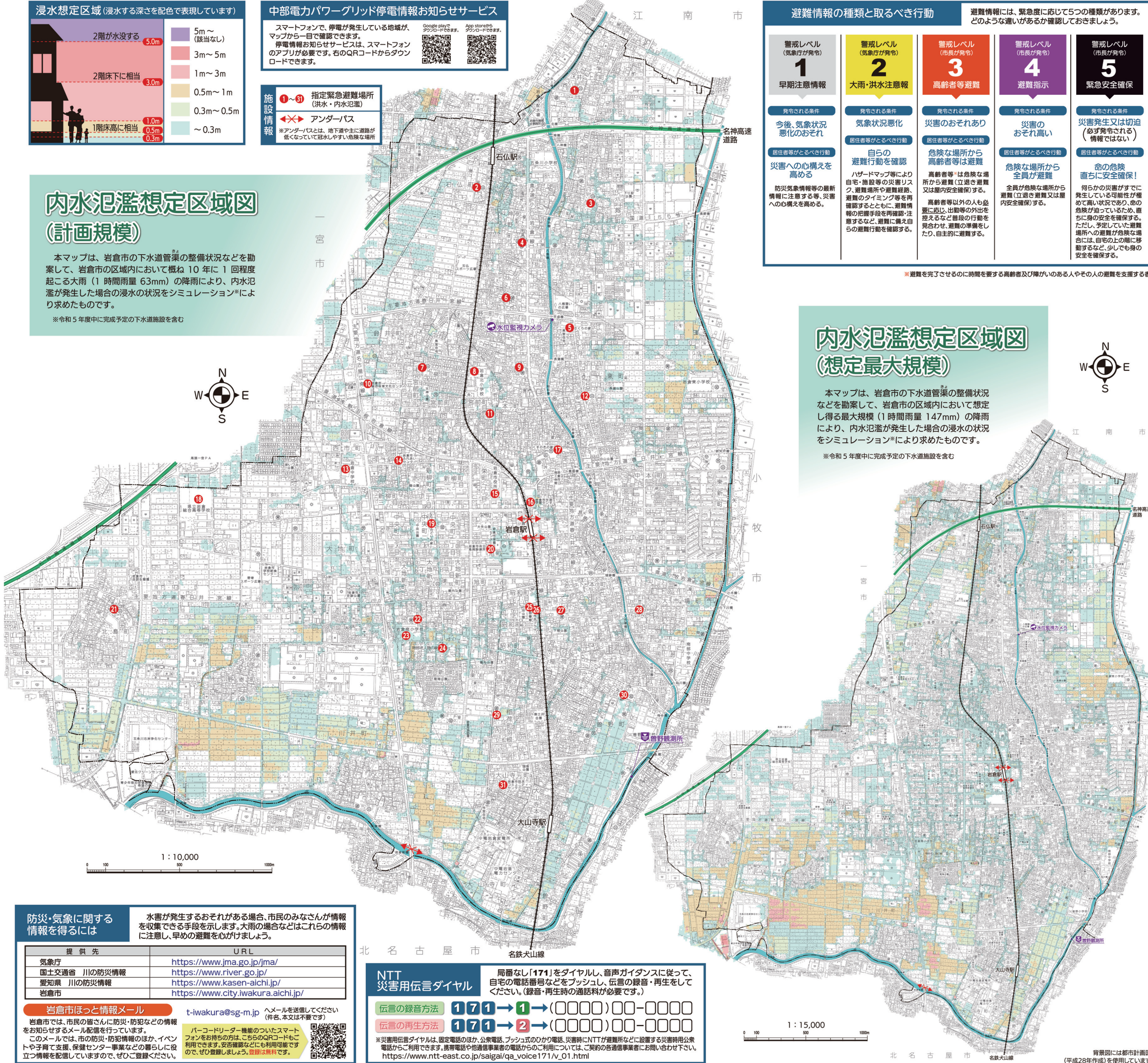
中部電力パワーグリッド停電情報お知らせサービス

スマートフォンで、停電が発生している地域が、マップから一目で確認できます。

停電情報お知らせサービスは、スマートフォンのアプリが必要です。右のQRコードからダウンロードできます。

Google play
ダウンロードできます。

App store
ダウンロードできます。



内水氾濫想定区域図
(想定最大規模)

本マップは、岩倉市の下水道管渠の整備状況などを勘案して、岩倉市の区域内において想定し得る最大規模（1時間雨量 147mm）の降雨により、内水氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーション[※]により求めたものです。

※令和5年度中に完成予定の下水道施設を含む



避難情報の種類と取るべき行動		避難情報には、緊急度に応じて5つの種類があります。 どのような違いがあるか確認しておきましょう。	
警戒レベル (気象庁が発令)	警戒レベル (気象庁が発令)	警戒レベル (市長が発令)	警戒レベル (市長が発令)
1	2	3	4
早期注意情報	大雨・洪水注意報	高齢者等避難	避難指示
発令される条件	発令される条件	発令される条件	発令される条件
今後、気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い
居住者等がとるべき行動	居住者等がとるべき行動	居住者等がとるべき行動	居住者等がとるべき行動
災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により 自宅・施設等の災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等を再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認・注意するなど、避難に備えるための避難行動を確認する。	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等は「危険な場所から避難（立退き避難）又は屋内安全確保」する。 高齢者等以外の人にも必要に迫り、出動等の外出を控えるなど、普段の行動を見合わせ、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	危険な場所から全員が避難 全員が危険な場所から避難（立退き避難又は屋内安全確保）する。 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況であり、直ちに身の安全を確保する。ただし、予定していた避難場所への避難が危険な場合には、自宅の2階に移動するなど、まず目の身の安全を確保する。
			命の危険 直ちに安全確保！
			災害発生又は切迫（必ず発令されない情報ではない）
			緊急安全確保

※避難を完了させるのに時間を要する高齢者及び障がいのある人やその人の避難を支援する者

北
名
古
屋
市

名鉄犬山線

NTT
災害用伝言ダイヤル

局番なし「**171**」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って、自宅の電話番号などをプッシュし、伝言の録音・再生してください。（録音・再生時の通話料が必要です。）

伝言の録音方法

171 → 1 → (0000) 00-0000

伝言の再生方法

171 → 2 → (0000) 00-0000

※災害用伝言ダイヤルは、固定電話のほか、公衆電話、プッシュ式ののみ電話、災害時にNTTが避難所などに設置する災害時用公衆電話からご利用できます。携帯電話や他通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者にお問い合わせ下さい。

https://www.ntt-east.co.jp/saiga/qa_voice/171/01.html

背景図には都市計画図
(平成28年作成)を使用しています。